

## 1 全国の林産物の市場規模について 林業産出額（令和元年）

項目	産出額
木材生産	2,700億円
薪炭生産	58億円
栽培きのこ類生産	2,170億円
林野副産物採取(※)	48億円
林業産出額計	4,976億円

（出典）「令和元年林業産出額」農林水産省

（※）林野副産物採取とは、まつたけ、野生鳥獣、樹実、野草、樹皮、木ろう、生うるし等

## 2 市内産木材の需給状況について

### (1) 市内における素材生産量（市内産木材の供給量）

年度	素材生産量
平成28年度	48,758m <sup>3</sup>
平成29年度	49,083m <sup>3</sup>
平成30年度	52,151m <sup>3</sup>
令和元年度	77,634m <sup>3</sup>

（出典）京都府からの聞き取りによる

（注）京都市内で産出された原木の量

### (2) みやこ杉木の出荷量（市内産木材の需要量の推計値）

年度	出荷量	出荷先	
		市内	市外
平成28年度	14,168m <sup>3</sup>	9,233m <sup>3</sup>	4,935m <sup>3</sup>
平成29年度	14,407m <sup>3</sup>	9,684m <sup>3</sup>	4,723m <sup>3</sup>
平成30年度	14,059m <sup>3</sup>	7,885m <sup>3</sup>	6,174m <sup>3</sup>
令和元年度	12,084m <sup>3</sup>	7,038m <sup>3</sup>	5,046m <sup>3</sup>

（出典）京都市域産材供給協会が毎年度末時点で調査し集計したもの

（注）みやこ杉木認証制度に基づき、京都市内産木材であることが明示された製材品（北山丸太を除く）の量

#### <参考>

木造住宅（軸組工法）1戸当たりの木材使用量 約19m<sup>3</sup>

※1戸当たりの総床面積を約120m<sup>2</sup>とした場合

（出典）「木造住宅の木材使用量調査事業報告書」一般社団法人日本木材総合情報センター 平成26年1月